

# 建築基準法第28条の2に関する報告書(工事監理報告書)

(シックハウスおよびアスベスト対策)

平成 年 月 日

下記の通り建築基準法第28条2に関する建築工事の施工結果を報告します。  
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(あて先) 建築主事

工事監理者 住所 電話

会社名 級建築士事務所 ( ) 登録第 号

氏名 級建築士(大臣・知事) 登録第 号

工事施工者 住所 電話

会社名 建設業の許可(特定・一般) 第 号

氏名

(法人にあつては、その事務所の所在地・名称・代表者氏名及び社印)

建築主 住所 電話

氏名

## 記

工事現場	名称		工区棟	工事の種類	新築・増築・( )			
	所在地	板橋区						
階数	地上	階	地下	階	建築面積	m <sup>2</sup>	延べ面積	m <sup>2</sup>
確認済証交付者								
確認・計画通知、年月日及び番号		平成	年	月	日	第	号	
計画変更・年月日及び番号		平成	年	月	日	第	号	
		平成	年	月	日	第	号	
換気設備		1. 機械換気設備 2. 機械換気設備(居室内の空気を浄化して供給する方式) 3. 中央管理方式の空気調和設備 4. 令20条の8第2項 5. その他( )						
吹付け石綿等		1. 使用無 2. 既存部無 3. 撤去 4. 囲込 5. 封込						
監理者総合所見								
	受付欄 ※							

◎ 記載内容には、裏面の確認事項についての確認方法を含めてください。

- (注意) 1 ※印のある欄は、記入しないでください。  
2 工事監理者又は工事施工者(法人の場合にあつては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。

## 建築基準法 28 条の 2 に関する確認項目報告

検査・確認事項を○で囲むこと	居室	建築材料	1 下地における建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
			2 接着剤の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
			3 仕上げにおける建築材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
			4 塗料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
			5 建具及び造り付け家具等の材料の種類及び使用面積が、確認図書と同一であることを確認した。
			6 その他 ( )
	居室	換気設備	7 換気設備において、確認図書の換気計画と同一であることを確認した。 (換気ガラリ、アンダーカット等)
			8 換気設備において、確認図書の換気回数が確保できる機種であることを確認した。
			9 換気設備において、ダクトの配置が確認図書と同一であることを確認した。
	居室	その他	10 その他 ( )
			11 建具及び造り付け家具の種類(型番)及び形状が、確認図書と同一であることを確認した。
	天井裏等	建築材料	12 換気経路と一体になった部屋の上記対策についても確認した。
1 天井裏等の仕上げにおける建築材料の種類が、確認図書と同一であることを確認した。 (F☆☆☆以上を使用した場合に記入)			
換気設備		2 物入れ等の仕上げにおける建築材料の種類が、確認図書と同一であることを確認した。 (F☆☆☆以上を使用した場合に記入)	
		3 天井裏等の換気設備において、確認図書の換気回数が確保できる機種であることを確認した。(F☆、F☆☆を使用した場合に記入)	
その他		4 物入れ等の換気設備において、確認図書の換気回数が確保できる機種であることを確認した。(F☆、F☆☆を使用した場合に記入)	
		5 天井裏等において気密層又は通気止めによって、居室と区画したことを確認した。 (ボードの継ぎ目等には、気密補助材を使用したことを確認した。)	
吹き付け石綿等	撤去 囲込 封込	1 改修方法が、確認図書と同一であることを確認した。	
		2 改修方法が、確認図書と同一であることを確認した。	
		3 改修方法が、確認図書と同一であることを確認した。	